

AFTER  CORONA

教室の一年の歩み

– 2023 –

江口 晋

2023年12月2日

長崎大学移植・消化器外科 同門会（鐘韻会）

**長崎大学 移植・消化器外科(第二外科)
教室構成員**

同門会員数 367名 (女性：27名)
(本年ご逝去者5名)

関連施設数 30施設

現役教室員数 88名（女性：12名）

- 大学内 29名 (女性：5名)
- 関連施設 53名
- 国内外留学 5名

(2023年12月2日現在)

逝去者(2022. 12～2023. 11)

- ・ 押渕 英展 先生（昭和38年卒） 2022年 12月19日 ご逝去 享年83歳
- ・ 石垣 實弘 先生（昭和38年卒） 2023年 1月 8日 ご逝去 享年91歳
- ・ 徳安 清昭 先生（昭和46年卒） 2023年 4月28日 ご逝去 享年79歳
- ・ 江藤 省三 先生（昭和45年卒） 2023年 4月28日 ご逝去 享年79歳
- ・ 光吉 貢 先生（昭和32年卒） 2023年 7月17日 ご逝去 享年92歳
- ・ 大宮 俊憲 先生（昭和48年卒） 2023年 8月22日 ご逝去 享年76歳

2023年の長寿祝い

【米寿88歳（昭和11年生）】

天野 實 先生（昭和11年11月1日）	井手 聰 先生（昭和11年7月14日）
林 輝義 先生（昭和11年9月10日）	森永英彦 先生（昭和11年12月9日）

【喜寿77歳（昭和21年生）】

岡 進 先生（昭和21年10月19日）	田辺雋一 先生（昭和21年11月23日）
千葉憲哉 先生（昭和21年11月30日）	中安 清 先生（昭和21年 7月29日）
山本賢輔 先生（昭和21年 6月 5日）	吉原 睦 先生（昭和21年 1月25日）

2023年の叙勲祝

酒井 一守 先生（昭和35年卒）

旭日双光章 受章 令和5年2月1日

富岡 勉 先生（昭和51年卒）

旭日重光章 受賞 令和5年11月3日

新教授就任

藤田 文彦 (H7年卒)

令和5年4月 久留米大学外科学講座主任教授



日高 匡章 (H11年卒)

令和5年4月 島根大学消化器総合外科教授



教授就任記念祝賀会



藤田文彦先生・日高匡章先生 教授就任記念祝賀会 令和5年5月21日 ヒルトン長崎

長崎県議会議員就任

虎島 泰洋 (H10年卒)

令和5年7月 長崎県議会議員



大学外科教室のミッション

1. 人材育成

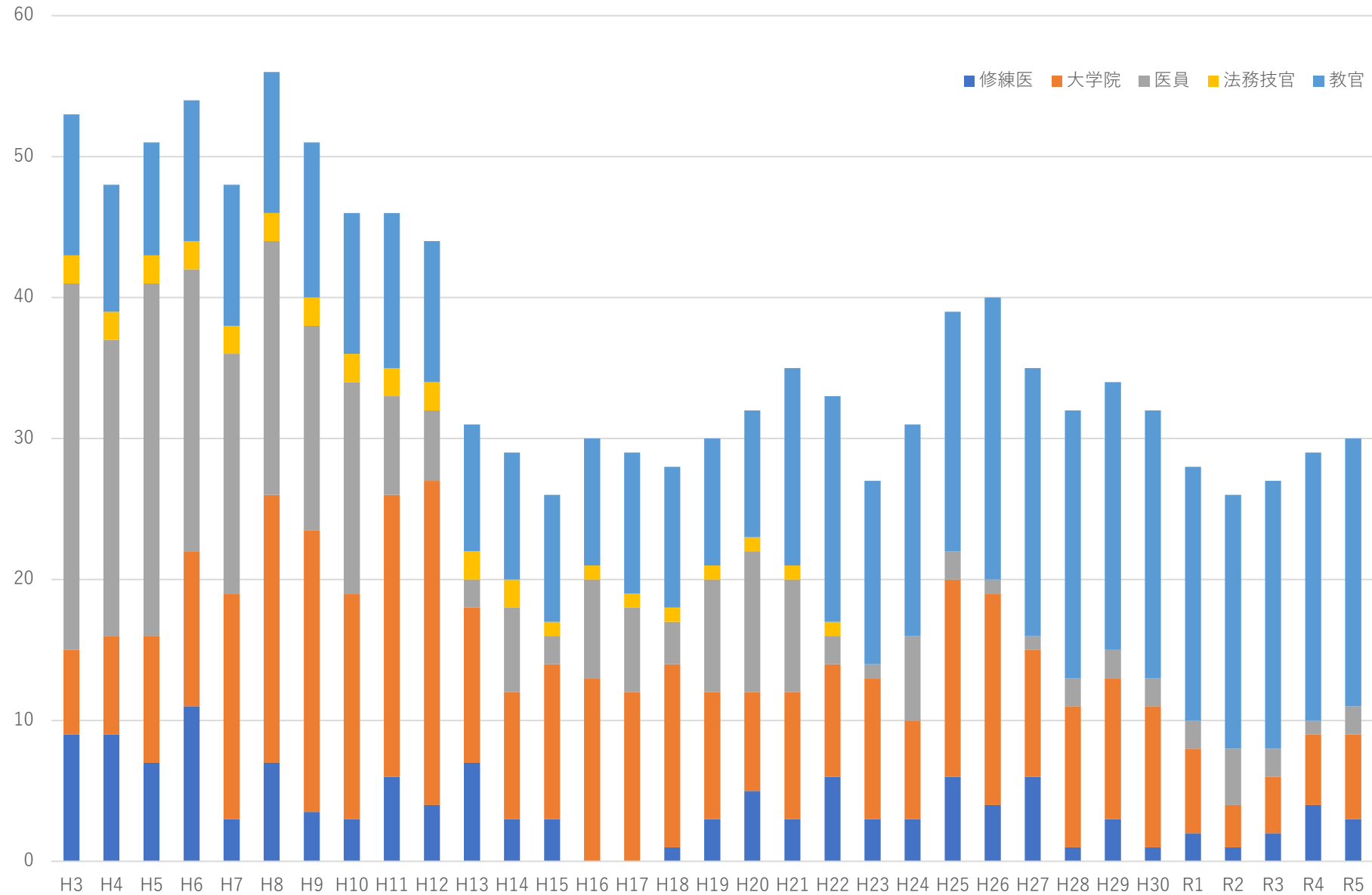
専門医・地域医療・教育者・社会/国際医療

2. 情報発信

臨床・研究・社会/国際貢献

教室の構成と現況 2023

大学勤務医師数



教員人事

採用・昇任

小林 和真（平成6年）	長崎大学病院 病院准教授（2023年5月1日付）
足立 智彦（平成12年）	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 准教授（2023年7月1日付）
久芳 さやか（平成13年）	長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 講師（2023年7月1日付）
小坂 太一郎（平成14年）	長崎大学病院 講師（2023年7月1日付）
井上 悠介（平成16年）	長崎大学病院 病院講師（2023年7月1日付）
山下 万平（平成23年）	長崎大学病院 助教（2023年4月1日付）
三好 敬之（平成24年）	長崎大学病院 助教（2023年4月1日付）
赤司 桃子（平成22年）	長崎大学病院 助教（2023年10月1日付）
永川 寛徳（平成23年）	長崎大学病院 助手（2023年10月1日付）
村上 俊介（平成25年）	長崎大学病院 助教（2023年10月1日付）

教員人事

転出

日高 匡章（平成11年卒）准教授
島根大学医学部消化器・総合外科学講座 教授（2023年3月31日付）

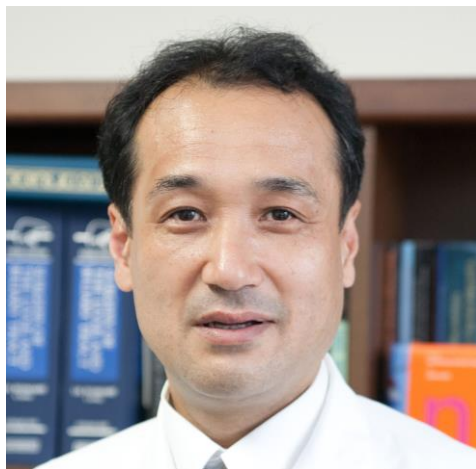
丸屋 安広（平成19年卒）講師
社会医療法人社団高野会 くるめ病院（2023年7月4日付）

松本 亮（平成23年卒）助教 山口県立総合医療センター（2023年3月31日付）

松隈 国仁（平成23年卒）助手 国立がん研究センター中央病院（2023年3月31日付）

岡田 怜美（平成22年卒）助教 長崎みなとメディカルセンター（2023年9月30日付）

教授



江口 晋 H4

移植・消化器外科
副病院長(安全)

学会理事 **日本消化器外科学会**

日本消化器病学会

日本肝胆膵外科学会

日本移植学会

日本肝移植学会

日本再生医療学会

日本Acute Care Surgery学会

国際外科学会 日本部会

アメリカ外科学会 日本支部

九州消化器癌化学療法研究会 (KSCC)



永田 康浩 S61

医学部地域医療学講座



金高 賢悟 H6

消化器・再生医療学講座



林田 直美 H10

原研センター共同研究推進部

准教授



小林和真 H6
(化学療法G)



曾山 明彦 H12
先端技術展開
外科学講座



足立智彦 H12
(肝胆膵G)

講師



久芳さやか H13
(内分泌G)

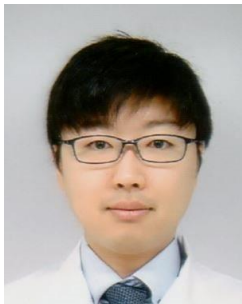


小坂太一郎 H14
(小児G)



井上悠介 H16
(下部G)
医局長

助教



小林慎一郎 H18
(上部G)



原 貴信 H19
(肝胆膵G)



松島 肇 H19
(肝胆膵G)
副医局長



森田 道 H20
(内分泌G)



今村一步 H21
(肝胆膵G)



赤司 桃子 H20
(内分泌G)



足立 利幸 H23
(下部G)



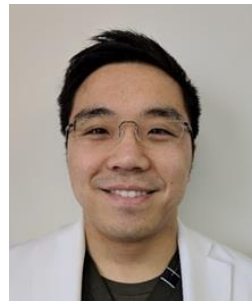
永川 寛徳 H23
(肝胆膵G)



山下万平 H23
(肝胆膵G)



三好 敬之 H24
(下部G)



村上 俊介 H25
(上部G)



宮本大輔



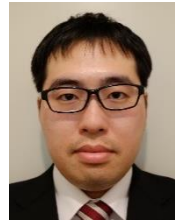
猪熊孝実 H13
救命・救急センター

大学院生

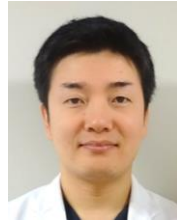
4年生



藤田 拓郎 H24

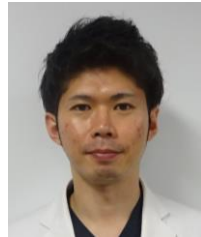


松隈 国仁 H26



福本 将之 H27

3年生



吉野恭平 H27

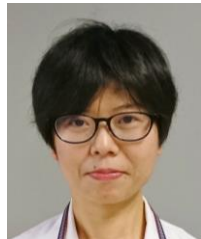


円城寺貴浩 H25



李 佩霖

2年生



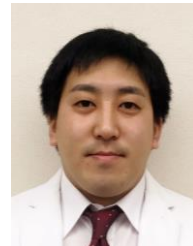
哲翁 華子 H28



右田 一成 H29



川口 雄太 H29



栗寄 健 H29



李 陸洋

1年生



佐藤 彩香 H30



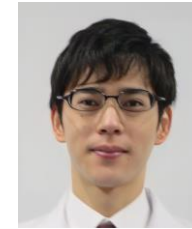
Askeyev Baglan

医員



山崎 遥 H30

修練医



中山 嵩士 R2



林田 浩太郎 R2



又野 護 R3

新入局員



又野 護 R3



牟田 裕貴 R3



田崎 海斗 R3



松尾 和哉 R3



竹森 広大 R2

海外からの留学生・研修生

中国



李 佩霖
(2021/10～大学院)
広州第一人民医院



李 陸洋
(2022/4～大学院)
山東省済南市章丘医
人民総合病院

カザフスタン



Baglan Askeyev
(2023/10～大学院)

ドイツ

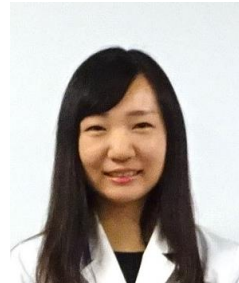


Celine Marie Eckert
(2023/8/7～9/5 交換留学生)
ビュルツブルグ大学

ラボさん



長谷川さん
江口班事務



草野さん
教授秘書



原口さん
乳腺班
業務サポート



村井さん
予算管理
実験室



濱口さん
胆膵データ入力
受付



柴田さん
医局長秘書



高柳さん
上部班
業務サポート
NCD入力



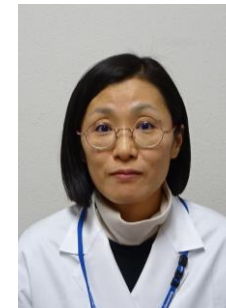
森さん
医師事務
作業補助



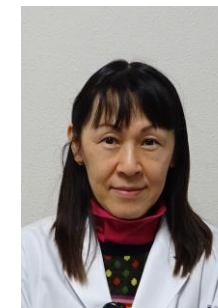
沼崎さん
受付



林田さん
受付



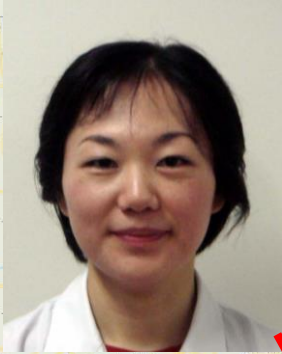
永瀨さん
先端技術展開
外科学講座事務



森山さん
実験室

海外留学生

カーペンター(村岡) いづみ H17
マイアミ大学 移植ドナーCo

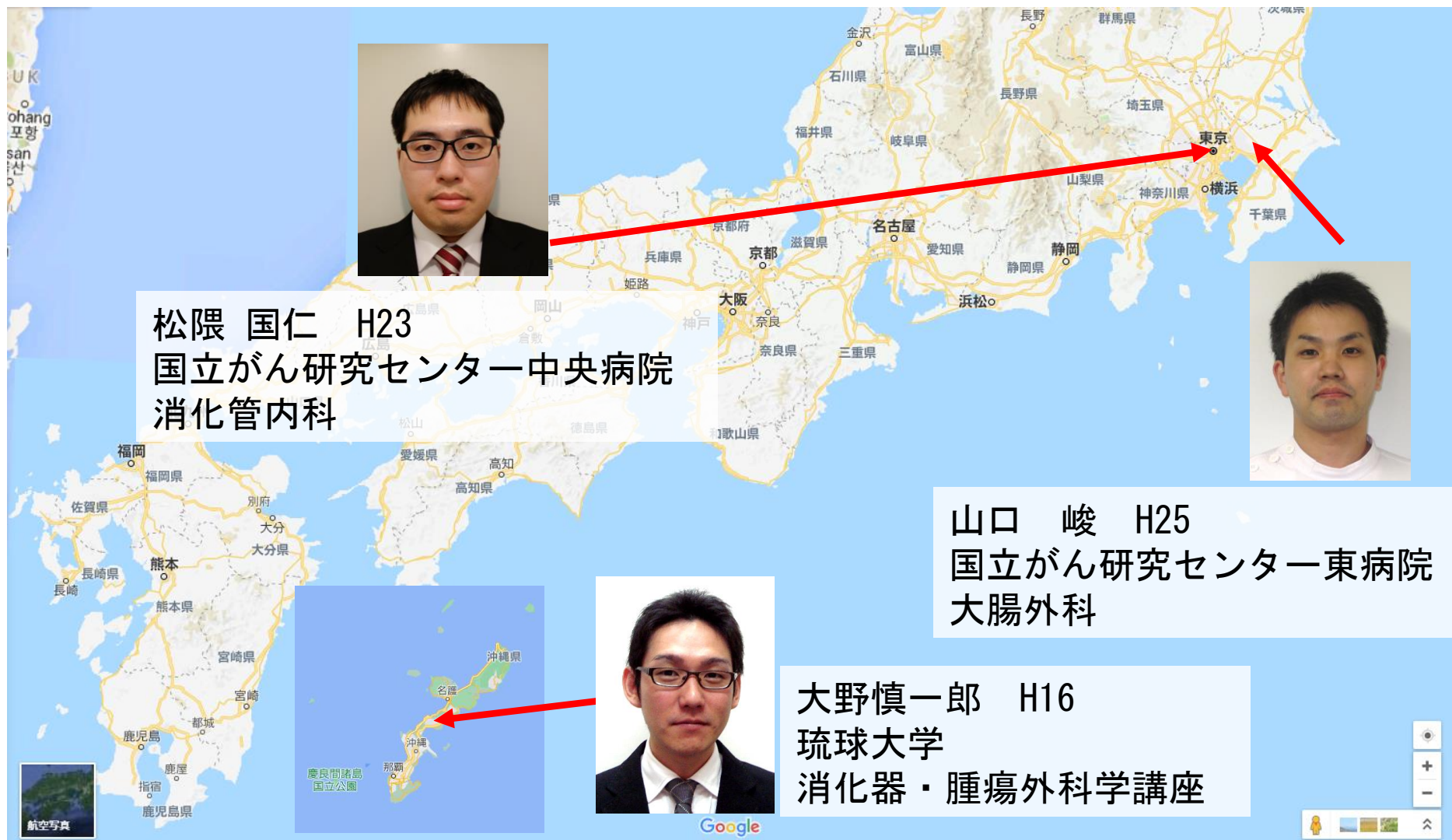


2023/12/1
大学院セミナー



濱田 隆志 H23
デンマーク王立病院

国内留学/派遣者



来年度入局決定者

太田	成美	(長崎みなとメディカルセンター)
小野	稔晃	(長崎みなとメディカルセンター)
萩原	朋也	(長崎医療センター)
永吉	一生	(国立佐賀病院)
大島	幹生	(長崎県島原病院)
行武	彩季	(長崎みなとメディカルセンター)

入局希望者の情報があれば、
いつでもご連絡ください。

(2023年1月～2023年11月)

新規専門医/指導医（学内）

日本再生医療学会 再生医療認定医 金高 賢悟

日本内視鏡外科学会 ロボット支援手術プロクター認定医

金高 賢悟、小林 慎一郎、曾山 明彦

日本消化器病学会 専門医

曾山 明彦

日本内視鏡外科学会 技術認定医

山下 万平

日本腹部救急医学会 認定医

円城寺 貴浩

日本外科学会 外科専門医

哲翁 華子、右田 一成、川口 雄太

など

(2023年1月～2023年12月)

新規専門医/指導医（学外）

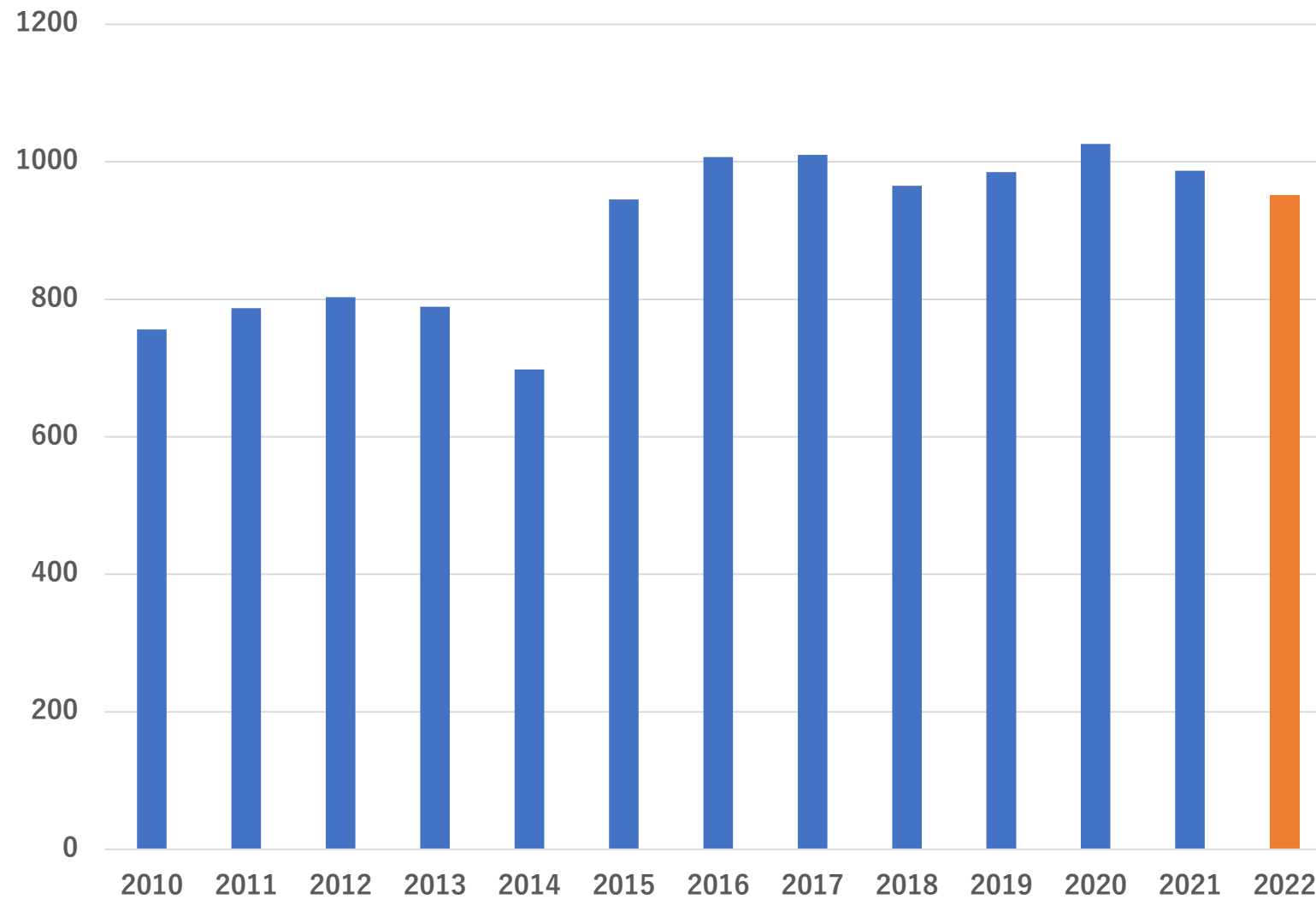
日本消化器外科学会	専門医	木下綾華、平山昂仙、永川寛徳、池田 貴裕
消化器がん外科治療	認定医	木下綾華、平山昂仙、永川寛徳
日本腹部救急医学会	認定医	永川寛徳
日本内視鏡外科学会	技術認定医	平原 正隆
日本内分泌外科学会	指導医	南 恵樹
日本消化器病学会	専門医	北里 周、池田 貴裕
日本外科学会	指導医	米田 晃
日本食道学会	食道科認定医	米田 晃

など

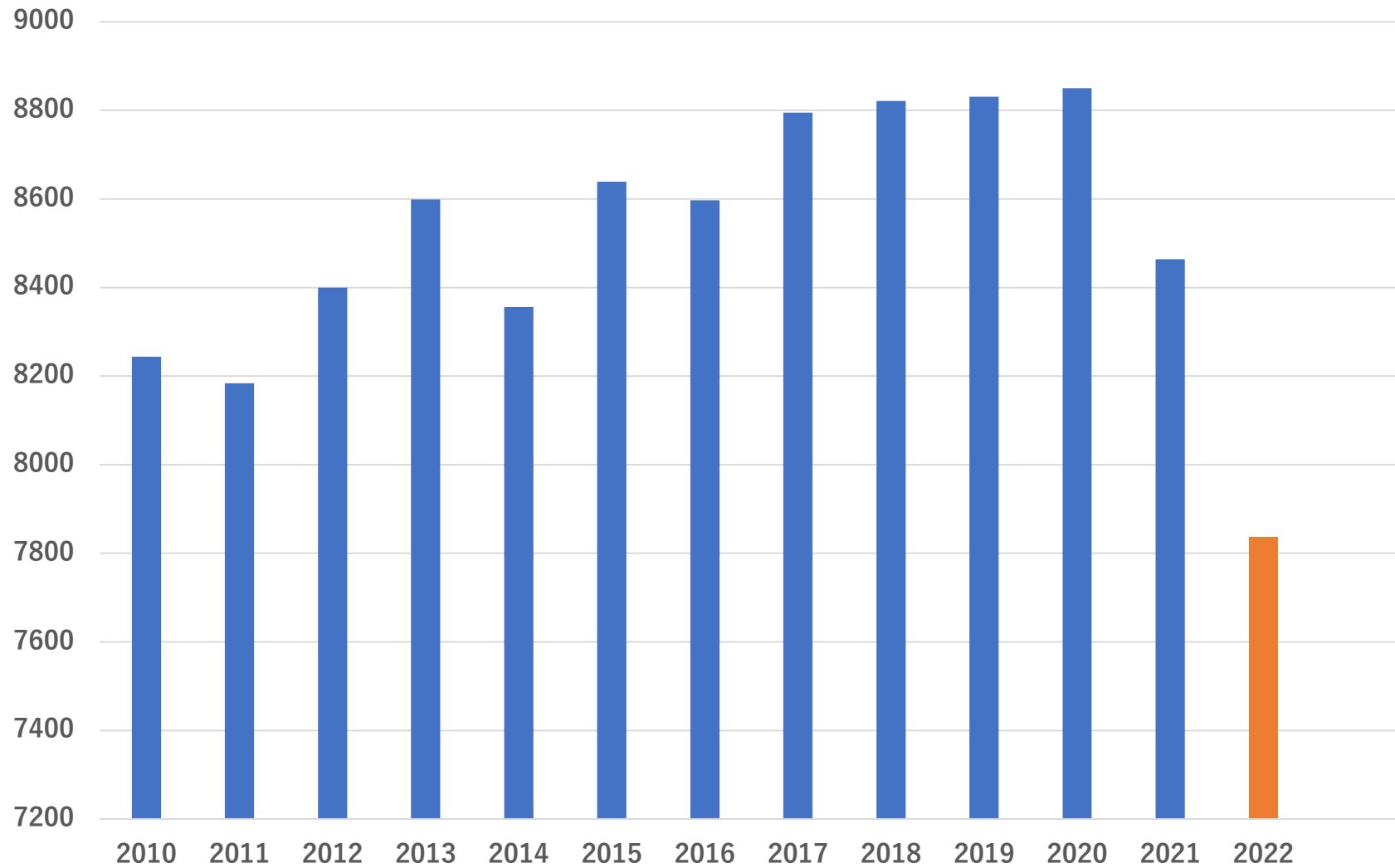
※現在までに医局で把握している情報です。引き続き、新規の資格はご連絡ください。

教室の臨床 2023

当科手術総数 (長崎大学病院)

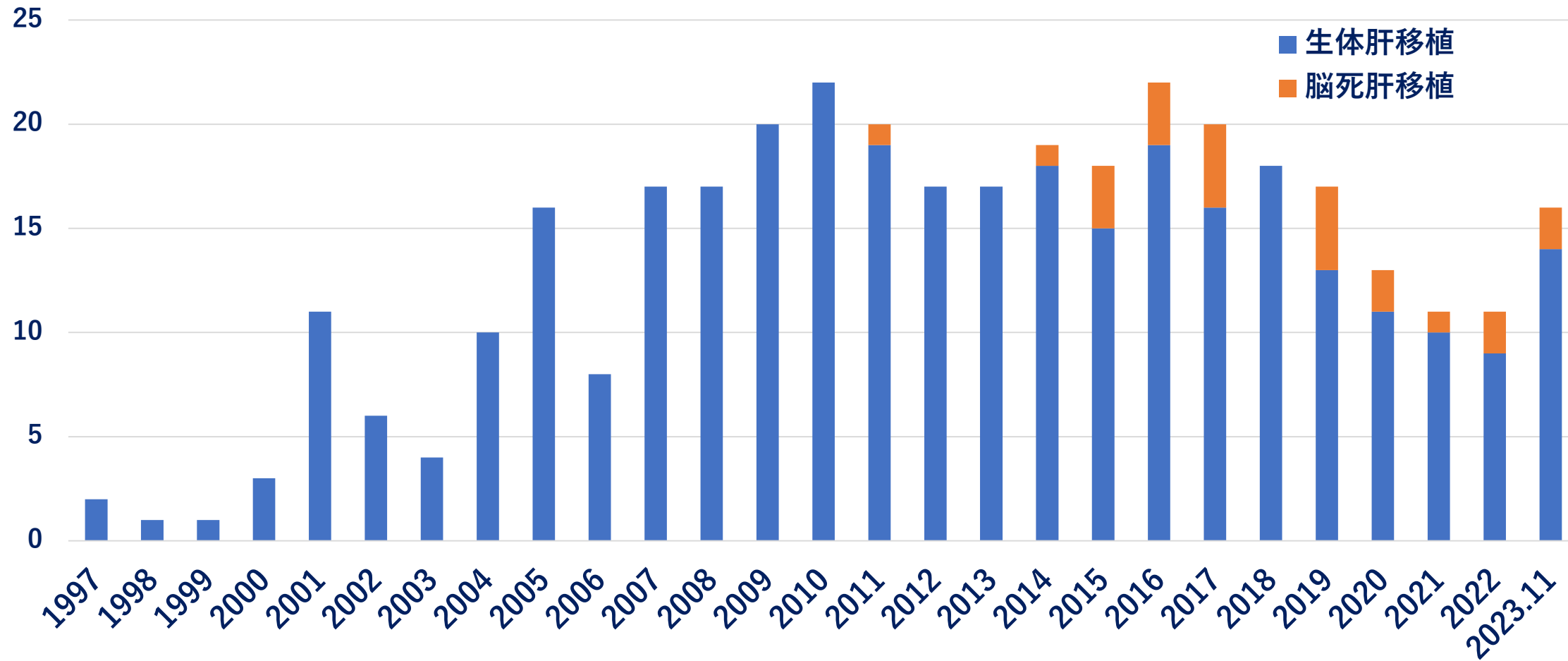


関連病院手術総数



長崎大学における肝移植数

1997～2023.11 357例
生体334例、脳死23例



長崎での消化器・移植医療

1991年

2000年

2012年

2023年

肝移植チーム結成

毎金曜
ブタ肝移植実験



1997年 肝移植開始

359例

(生体 334例 脳死23例)

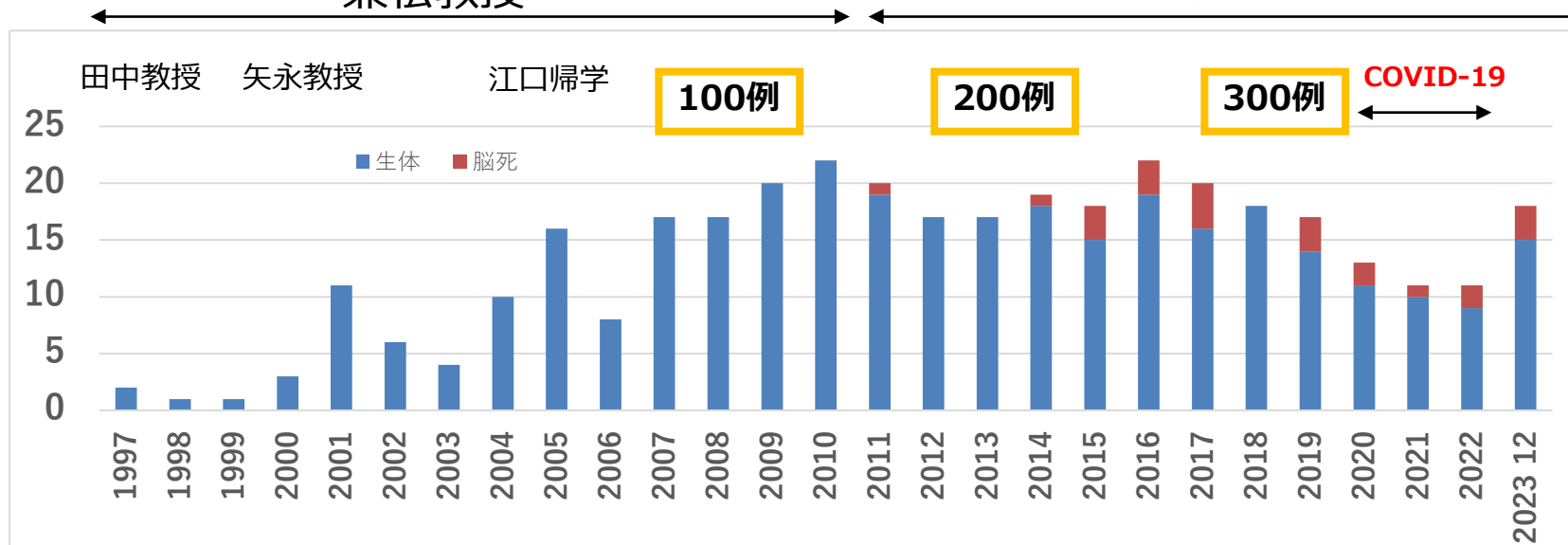
膵移植
チーム結成

2016 膵移植開始 → 8 例

小腸移植
施設認定

兼松教授

江口



自験例

脳死下の臓器提供100例目

長崎大病院で肝臓移植

長崎大学病院（長崎市）

は30日、全国千例目の脳死による臓器提供に伴って肝臓の移植手術を28日に同病院で実施したと公表した。

提供を受けたのは原発性硬化性胆管炎の30代男性で術後の経過は良好という。

日本臓器移植ネットワーク

によると、千例目は中国

・四国地方の病院に脳出血で入院していた60代男性。

家族が臓器提供に同意し、

26日午後7時22分に脳死と

判定された。28日午前5時

15分に摘出手術を開始。長崎大学病院では同午前9時15分に移植手術を始め、午後1時44分に臓器が到着。同8時41分に終了した。

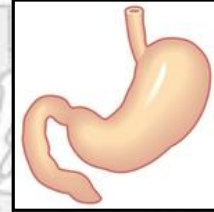
肝臓以外の移植手術はいずれも県外で行われ、60代男性に心臓、40代男性に肺、50代女性と40代男性に腎臓が提供されたという。

同病院でこれまでに脳死と判定されて臓器提供者（ドナー）となった事例は15件あるという。

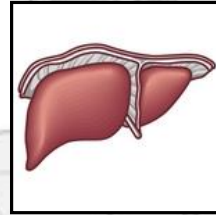
（山口栄治）

当科におけるロボット支援下手術の導入状況

食道 2021年3月～36例

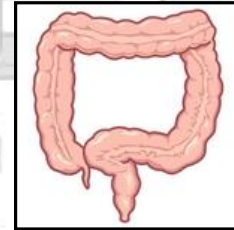


胃 2020年3月～69例

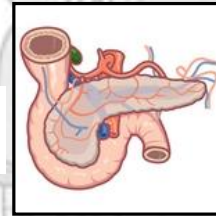


肝臓

2021年5月～40例



結腸 2022年11月～10例



膵臓

2020年12月～61例

直腸 2020年2月～82例



コンソール操作医師：10名（8名が大学）
みなとメディカルセンター、長崎医療センター
でも開始予定

症例数は2023/11月時点

大学教室での臨床研究

特にこういう症例、ご紹介ください！

- 上部班 → 食道癌：手術適応症例、高度進行症例、再発症例（AB122（抗PD-1抗体）のプラットフォーム試験）
胃癌：4型胃癌症例（腹水細胞診陽性胃癌に対する腹腔内パクリタキセル投与療法 PHOENIX試験）
進行再発固形癌：MAGEA4抗原陽性患者に対するCAR-T療法
- 下部班 → 直腸癌：低位直腸癌に対するTNT療法症例、下部進行直腸癌症例
- 肝胆膵班 → 肝細胞癌：脈管浸潤を伴うもの（臨床研究）、血管合併切除を伴う肝切除（NCD研究）
切除不能・再発 肝内胆管癌 （治験）
切除不能大腸癌肝転移に対する生体肝移植（先進医療）
膵癌（早期～局所進行まで）、腎不全を伴う1型糖尿病、先天性胆道拡張症
- 内分泌班 → 乳癌：脱毛予防をしたい患者さんの化学療法（術前よりお願いします）
- 小児班 → 小児消化管疾患（慢性便秘なども） 胸郭・呼吸器疾患（漏斗胸など）
- 化学療法班 → 大腸癌と胃癌：高齢者で化学療法が必要なもの
術前化学療法が必要な胃癌・食道癌
（十全大補湯によるQOLとマイクロバイオームの検討 KSCC QuEST試験 PI：小林和真）

今後の臨床の展開(準備状況)

- ロボット手術の適応拡大（単径ヘルニアなど）
- 腹腔鏡下ドナー肝切除の保険適応（肝外側区域）
- 脳死下小腸移植

教室の教育 2023

学生教育

医学知識を伝えるのも大切だが、

「外科がどのような仕事で、

自分達はその仕事をどれだけ好きで、

それを学生達に教えるのがどれだけ楽しいか」

が解る様に。

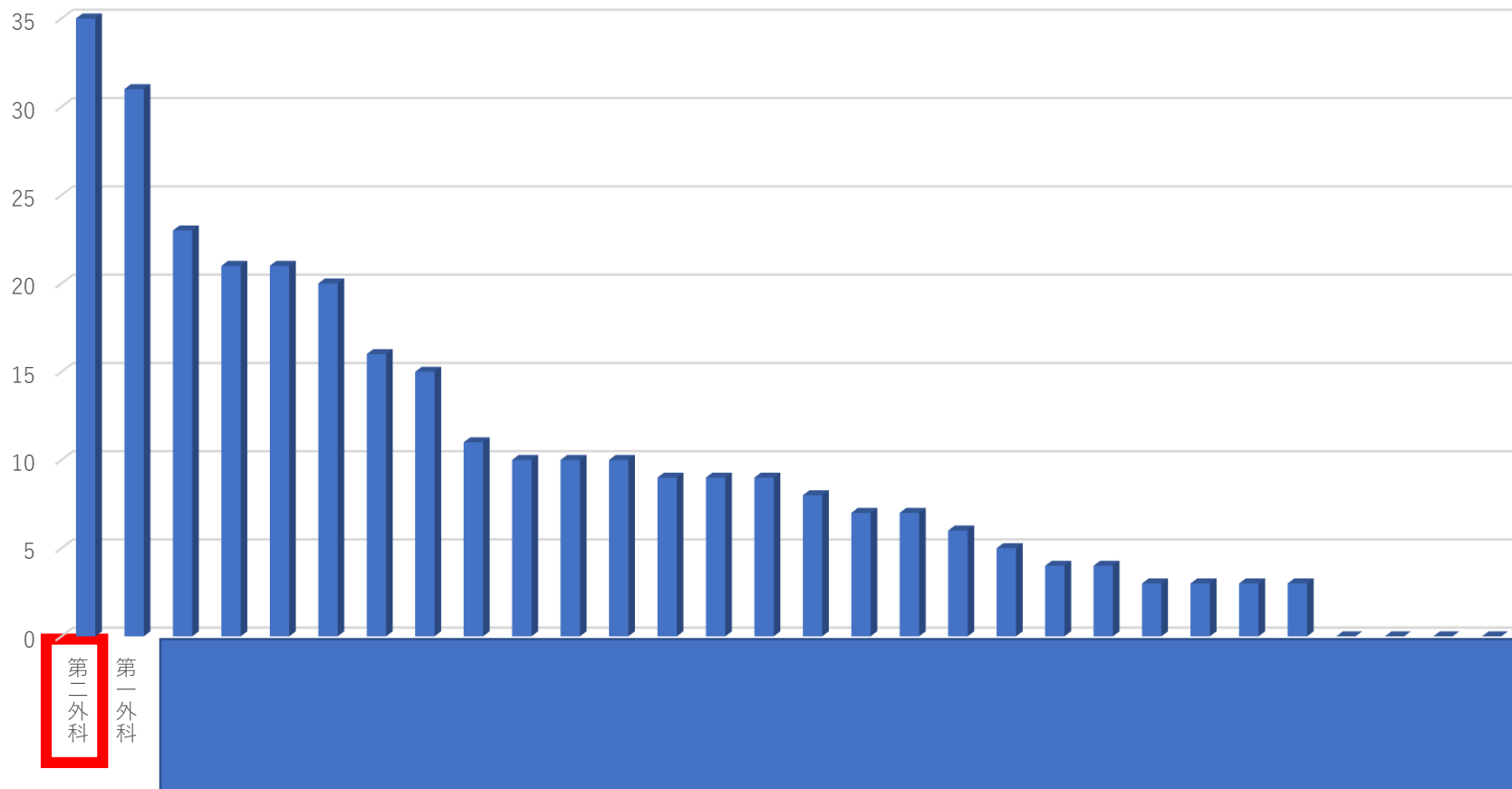
臨床実習（ポリクリ, クリクラ）

アンケートで **3年連続学内No1** の評価をいただきました！

対象：2022年度5年生（ポリクリ 125名）

（アンケート実施日：2023年1月）

1. 臨床実習について良いと思った実習科



3. 第二外科

<良いと思う理由>

- ・ 積極的に手技を多くさせてもらい勉強になった。・・・ 8名
- ・ 先生方のご指導が丁寧で熱心だった。・・・ 5名
- ・ 先生方が全員優しく、説明も丁寧で積極的に手術に参加させてもらったから。・・・ 3名
- ・ 雰囲気も非常によかった。・・・ 3名
- ・ 雰囲気がアットホームで先生方が優しかった。
- ・ 積極的に問診、診察、手技の訓練をさせていただき、実りのある実習が多かった。
- ・ カンファ中もたくさん解説してくださった。
- ・ 学生をチームの一員として尊重してくださった。
- ・ オペのとき、学生にできることをやらせてもらえた。しっかりフォローしてくださった。
- ・ 「学生さん」ではなく名前と呼んでもらえた。
- ・ 手技を色々させてもらえた。学会にも参加させてもらえた。
- ・ チームの一員として深い実習ができた。
- ・ 術野に入れてもらえて先生達もたくさん教えてくださるから。

非常勤講師の先生方

医学部

大塚 隆生 教授
(鹿児島大学)



山口 淳三 先生
(福岡青洲会病院)



嵩下 英次郎先生
(友愛医療センター)



高見 裕子 先生
(九州医療センター)



大学院

高槻 光寿 教授
(琉球大学)



2023 受賞



松島 肇 (H19卒)

令和5年度 角尾学術賞



原 貴信 (H19卒)

第77回 手術手技研究会 ビデオ賞



松隈 国仁 (H23卒)

第35回日本肝胆膵外科学会学術集会
理事長賞

Original Research

A phase II multicenter trial assessing the efficacy and safety of first-line S-1 + ramucirumab in elderly patients with advanced/recurrent gastric cancer: KSCC1701[☆]

Kazuma Kobayashi ^a, Koichi Suyama ^{b,*}, Hiroo Katsuya ^c, Naoki Izawa ^d,
Yoshikazu Uenosono ^e, Qingjiang Hu ^f, Tetsuya Kusumoto ^g,
Hajime Otsu ^h, Hiroyuki Orita ⁱ, Hirofumi Kawanaka ^j,
Kazunori Shibao ^k, Satoshi Koga ^l, Mototsugu Shimokawa ^m,
Akitaka Makiyama ⁿ, Hiroshi Saeki ^o, Eiji Oki ^f, Hideo Baba ^p,
Masaki Mori ^q on behalf of the KSCC1701 study group

小林 和真 (H6卒)

令和5年度

長崎大学インパクト論文賞



宮本 大輔

第41回日本肝移植学会学術集会

優秀演題賞



哲翁 華子 (H28卒)

IASGO 34th Young Investigator Award



川口 雄太 (H29卒)

日本臨床外科学会 優秀論文賞



哲翁 華子 (H28卒)

細胞シート工学イノベーションフォーラム

優秀演題賞

教室の研究 2023

学位取得者 2名

池田 貴裕(H25) 博 (医歯薬) 甲第1507号

授与日；2023年3月20日

タイトル：Stress exacerbates pancreatic cancer both directly and indirectly by creating an immunosuppressive environment
(ストレスは直接的にも、免疫抑制環境を形成して間接的にも膵癌を増悪させる)



村上 俊介(H25) 博 (医歯薬) 甲第1508号

授与日；2023年3月20日

タイトル：Transplantation of chemically-induced liver progenitor cells ameliorates hepatic fibrosis in mice with diet-induced nonalcoholic steatohepatitis (低分子化合物を用いた肝前駆細胞による非アルコール性脂肪性肝炎の改善)



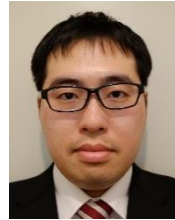
2023年度 第一回リサーチ検討会

(2023. 4. 18 @第1カンファランス室)

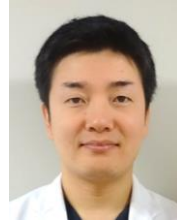
4年生



藤田 拓郎 H24

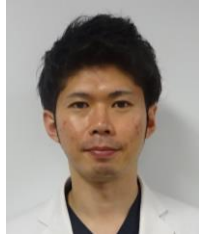


松隈 国仁 H26

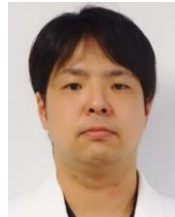


福本 将之 H27

3年生



吉野恭平H27

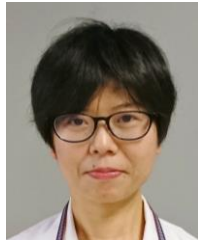


円城寺 貴浩



李 佩霖

2年生



哲翁 華子



右田 一成



川口 雄太

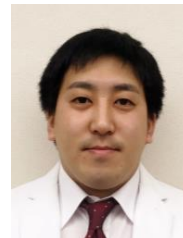
1年生



佐藤 彩香



Askeyev Baglan



栗寄 健



李 陸洋

外部資金：文科科研

新規 2件

氏名	研究種目	研究課題
右田 一成	研究活動スタート支援	高齢肝再生不全に対するSenolysisの試み
東 美樹	若手研究	他家細胞を利用する新規再生医療開発を目指した骨格筋由来細胞の免疫応答特性の解析

継続 14件

氏名	研究種目	研究課題
原 貴信	若手研究	低分子化合物による肝前駆細胞を用いた肝加齢性変化の改善、若返り治療
小林 慎一郎	若手研究	臍帯由来間葉系幹細胞誘導筋芽細胞を用いた革新的消化器手術合併症予防法の開発
松島 肇	若手研究	マウス小腸移植モデルを用いた小腸移植後抗体関連型拒絶反応の発症機序と治療法の解明
岡田 怜美	研究活動スタート支援	内因性TCRおよびMHC発現を抑制した非自己T細胞によるT細胞輸注療法の開発
哲翁 華子	研究活動スタート支援	ラットCLiPを用いた肝小葉様構造の作製および移植の実施、構造並びに機能評価
江口 晋	基盤研究(B)	ES細胞由来小腸オルガノイドを用いた再生医療による短腸症候群の革新的治療
米田 晃	若手研究	消化器癌に対する遺伝子改変T細胞と多機能ヘルパーT細胞誘導ワクチン併用療法の開発
池田 貴裕	研究活動スタート支援	臍島脂肪由来幹細胞シートにおける皮下と肝表面移植成果及び免疫応答能の差異の検討
金高 賢悟	基盤研究(C)	括約筋再生のための機能的筋細胞シートの開発
田中 貴之	基盤研究(C)	神経微小環境と免疫細胞の相互作用による膵発癌・増悪の機序解明
日高 匡章	基盤研究(C)	低分子化合物誘導された肝前駆細胞による胆汁排出システムを兼ね備えた肝組織の開発
足立 智彦	基盤研究(C)	低分子化合物によるリプログラミング技術を用いた自己非 β 膵細胞からの新規 β 細胞誘導
丸屋 安広	基盤研究(C)	抗原性を消失させたユニバーサルヒト骨格筋芽細胞のセルバンキングの構築に関する研究
曾山 明彦	基盤研究(C)	化学的誘導肝前駆細胞によるin vivoにおける胆管再構築

外部資金（科研費以外）

氏名	研究補助機関	研究課題
今村 一步	輔仁会	ヒト膵島細胞における老化細胞除去が膵島機能に及ぼす影響の解明
今村 一步	日本IDDNネットワーク	リプログラミング化技術を応用した膵島移植におけるマテリアルリサイクル技術の確立
円城寺 貴浩	ライフサイエンス財団	食道癌における免疫微小環境と早期再発との関連の解明
足立 利幸	長崎県医師会	ドローンによる臓器搬送の前臨床的研究
宮本 大輔	CHODAI Grant	肝/胆複合化代謝システムによる魚細胞のマイクロプラスチック代謝メカニズムの解明

2023 4大 公的プロジェクト

1. 血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する
肝移植を含めた外科治療に関する研究 (厚労科研)
2. 低分子化合物によるヒト肝前駆細胞(CLiP)を用いた肝硬変治療
(AMED)
3. 自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後穿孔予防と
腹腔鏡デリバリーデバイス開発 (テルモ共同研究講座、AMED)
4. 体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善
(スクリーン共同研究講座)

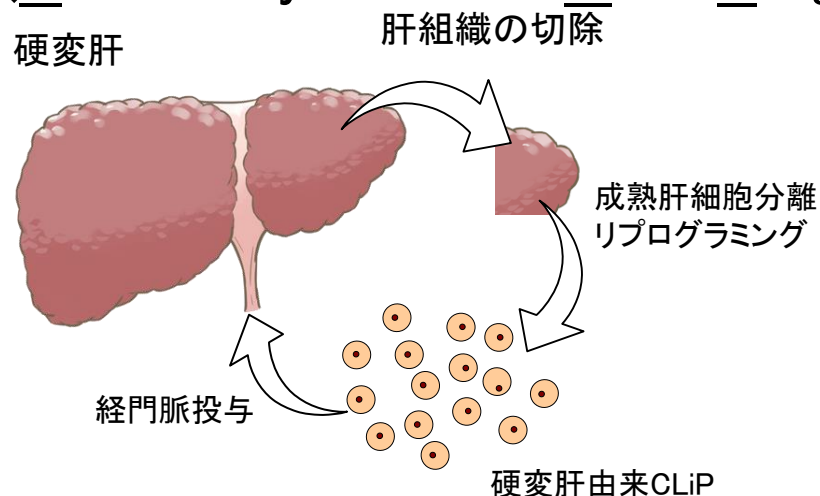
厚労科研エイズ対策研究事業：兼松班 → 江口班

- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植のための組織構築」
兼松班 平成21-23年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植の適応に関する研究」
江口班 平成24-26年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者の肝移植に関する研究」
指定班 江口班 平成27-29年度
指定班 江口班 平成30年度
令和元-2年度
- 「血液製剤によるHIV/HCV重複感染患者に対する肝移植を含めた外科治療に関する研究」
指定班 江口班 令和3-5年度

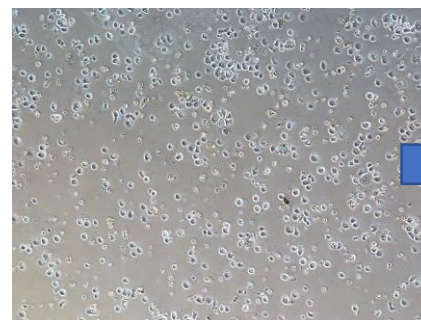
外科診療ガイド作成中

AMED:低分子化合物によるヒト肝前駆細胞

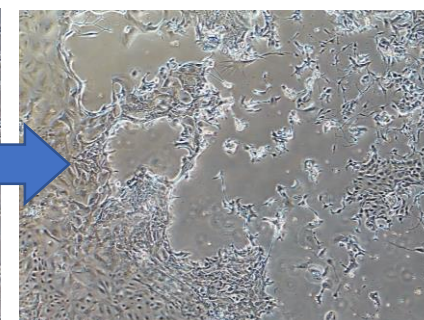
(Chemically-induced Liver Progenitor; CLiP)を用いた肝硬変治療



成熟肝細胞 (Day1)

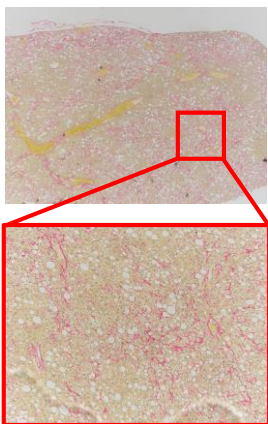


CLiPs (Day14)

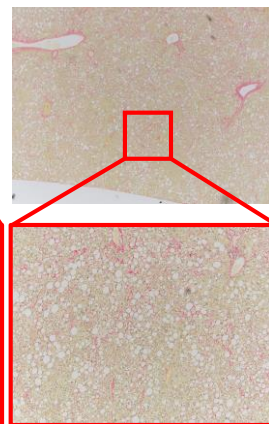


コラーゲン線維抑制効果(シリウスレッド染色)

CLiP非投与群

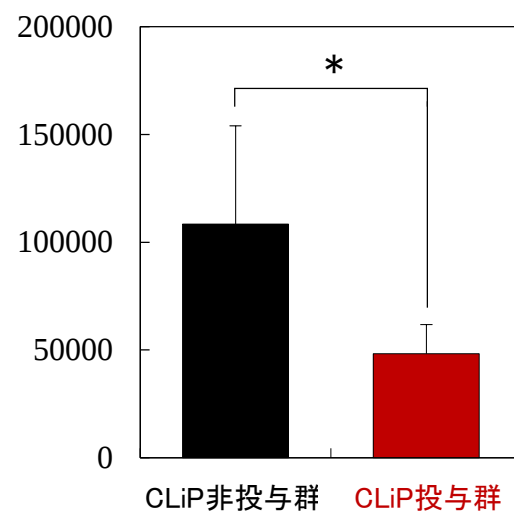


CLiP投与群

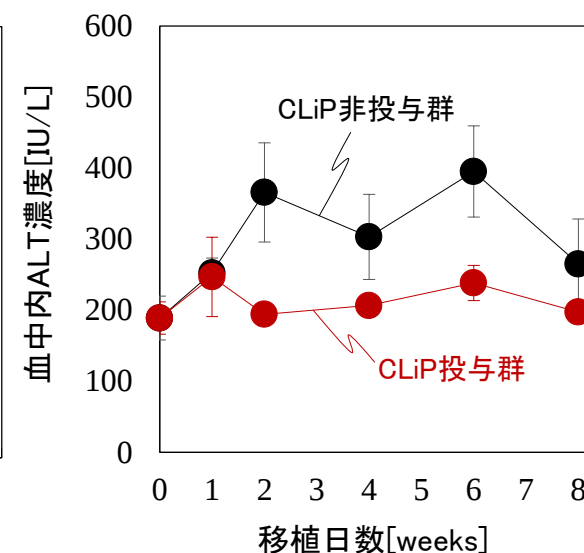


500μm

シリウスレッド陽性面積[μm²]

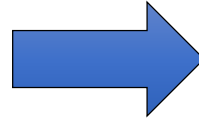
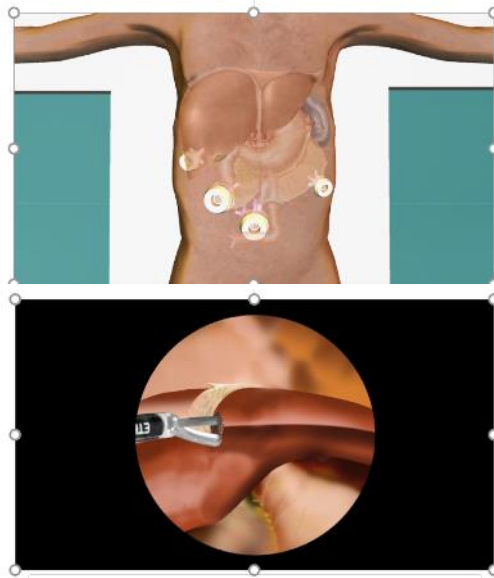


血中内ALT濃度 (肝障害性マーカー)



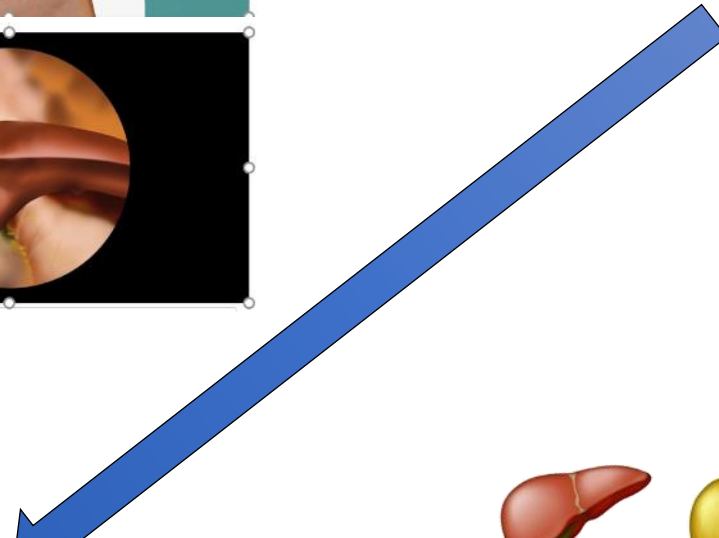
自己CLiPによる肝再生医療未来像(案)

全身麻酔下(腹腔鏡下)自己肝部分生検

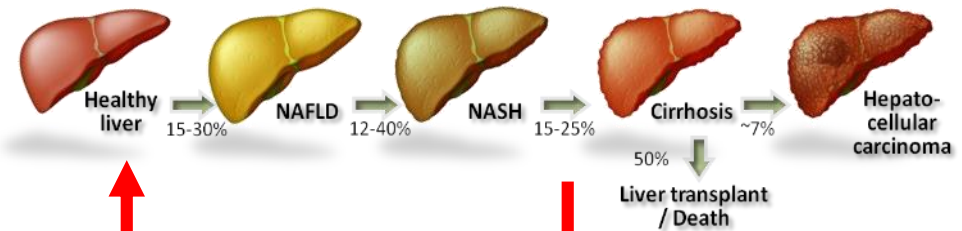
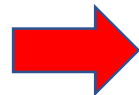


細胞プロセッシング室
(cell processing facility; CPF)

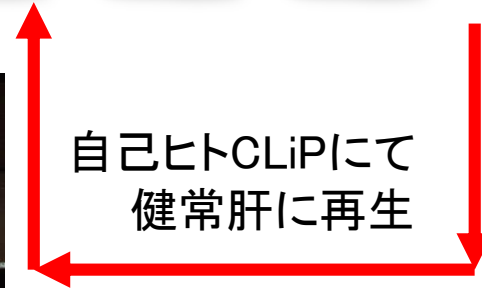
- ・ 自己ヒト肝細胞分離
- ・ 自己ヒトCLiP作製



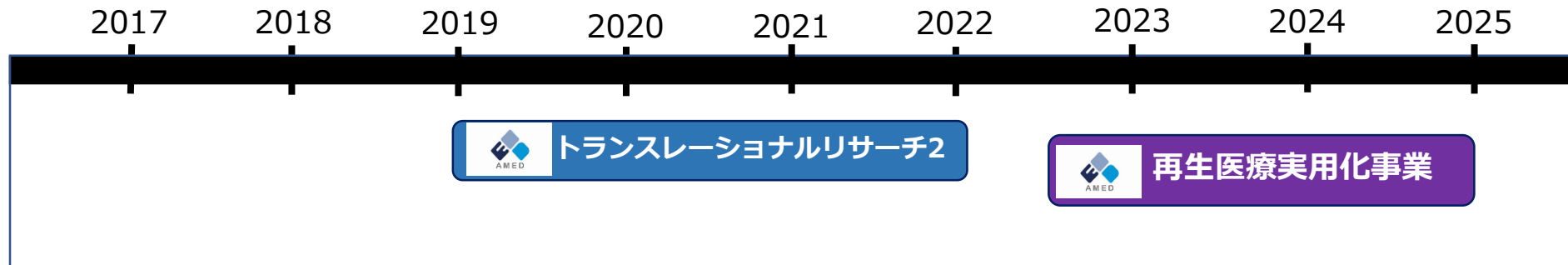
自己ヒトCLiP投与
(経門脈的)



自己ヒトCLiPにて
健常肝に再生



低分子化合物による自己肝前駆細胞を用いた 革新的肝硬変治療



hCLiPからの胆管構造の構築

特願2019-066417

Huang, et al., Biosci Bioeng.. 2020

高齢ラットからのCLiP作製

Huang, et al., Hepatol Res. 2021

ヒト肝硬変患者からのhCLiP作製

特願2019-068911

Miyoshi, et al., J Gastroenterology. 2022

NASHモデルでのhCLiPの効果検証

Murakami, et al., Regenerative Thera. 2022

薬剤性肝障害モデルでのrCLiPの効果検証

Matsuguma, Eguchi et al. (in preparation)

PMDA相談



▲ 事前面談 ▲ 対面助言

▲ 生物由来原料基準に関する相談 ▲

▲ 品質、非臨床安全性試験に関する相談

2025年 臨床研究開始を目指します

肝硬変 傷んだ細胞再生

長崎大など 2年後臨床研究へ

ブタで実験着手

重い肝硬変患者の肝細胞を若返らせる再生治療の実用化に向け、長崎大と東京医科大などのチームが今春、人と臓器のサイズが近いブタを使った実験に乗り出した。傷んだ肝細胞が正常な細胞に置き換わることで、肝機能の回復が見込まれ、肝移植でしか救えなかった重症患者の新たな治療の選択肢として期待される。2025年度にも臨床研究を始める。

肝臓の炎症が慢性化すれば、組織が硬くなって機能しなくなる「線維化」が進み、肝硬変に至る。近年、あまり飲酒しない人が発症する「非アルコール性脂肪性肝炎（NASH）」から肝硬変になるケースが急増している。関連学会によると国内の肝硬変の患者は推計で30万人以上になる。

増殖能力が高い「肝前駆細胞」と呼ばれる若い細胞に変わり、肝臓を再生できると報告。若返らせた細胞を「CLIP」と名付けた。

チームはこの技術を応用。まず、肝硬変のマウスなどに人の肝細胞から作ったCLIPを投与したところ、肝臓に定着後、線維化した組織が溶けて正常な肝細胞に置き換わった。ほとんどが肝臓で作られることから肝機能の指標となるたんぱく質「アルブミン」の産生も確認できた。

今年4月にはブタを使った実験に着手。肝臓の組織片からCLIPを作って体内に戻す実験を重ね、有効性と安全性を確かめる。結果を踏まえ、早ければ25年度に重症患者3人程度を対象



今年4月にはブタを使った実験に着手。肝臓の組織片からCLIPを作って体内に戻す実験を重ね、有効性と安全性を確かめる。結果を踏まえ、早ければ25年度に重症患者3人程度を対

2023年9月27日

長崎大学発ベンチャー 株式会社Rewind（リワインド）設立



丸屋安広
代表取締役
最高経営責任者（CEO）



山原研一
最高技術責任者（CTO）

兵庫医科大学分子細胞治療部門 教授

長屋昌宏
最高戦略責任者（CSO）

元ソーセル開発プロジェクトリーダー

落谷孝広
Scientific advisor

東京医科大学分子細胞治療研究部門 教授

江口 晋
Clinical advisor

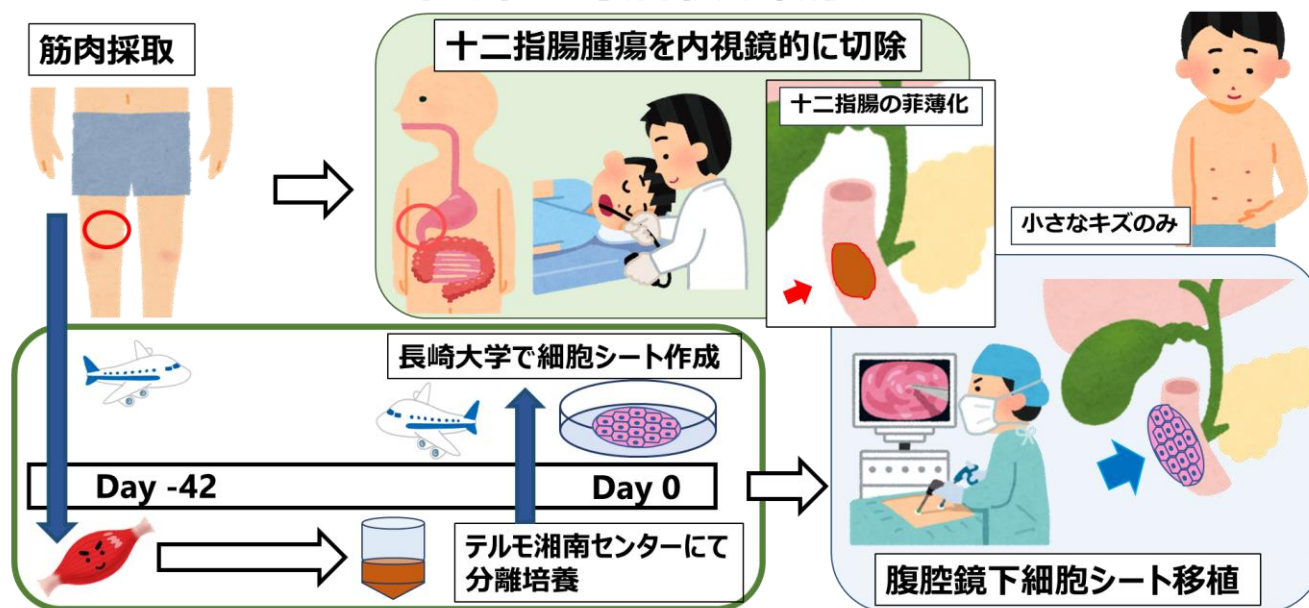
長崎大学移植・消化器外科 教授



自己筋芽細胞シートによる十二指腸ESD後 穿孔予防とデリバリーデバイス開発



医師主導治験の概要



十二指腸の早期がんを“内視鏡＋腹腔鏡＋再生医療”で安全に治療する

3例に対して無事に治験を実施することが出来ました。

長崎大、腹腔内での「細胞シート」手術に成功 再生医療で世界初

2022/6/29 10:30 (JST) | 6/29 17:52 (JST) updated

© 株式会社長崎新聞社



登壇で手術の成功を発表する金高教授（右）ら＝長崎大蔵本キャンパス

患者自身の細胞を用いて作成した「細胞シート」を十二指腸腫瘍の治療に応用する新方式の手術に、長崎大の金高賢信教授らのグループが成功した。腹腔（ふくくう）内手術に細胞シートを用いた世界初の再生医療。同大が28日、発表した。

この手術では、十二指腸内にできた腫瘍を内視鏡手術で取り除くと同時に、腹部を約1センチ切開して細胞シートを挿入し、十二指腸の術部の外側に細胞シートを貼り付けた。細胞シートは、事前に患者の太ももから細胞を分離し7週間かけて培養。直径2.5センチ、厚さ0.1ミリの状態にしていた。

十二指腸は胃や大腸とは異なり、屈曲が大きく強力な消化液が分泌されるため、内視鏡手術で腫瘍を切除する際には穴が開く恐れがある。弱くなった部分はクリップで閉鎖するのが一般的だが、クリップが不完全だった場合、腹膜炎などの重篤な合併症を引き起こす危険がある。細胞シートを貼り付ける処置には、それを予防する効果がある。細胞が組織の修復を促す分泌物を出していると考えられるという。

同大大学院は2019年1月、医療機器メーカー「テルモ」（東京）との共同研究講座を開設。金高教授らのグループが長崎大学病院でこの手術方式による医師主導治験を開始し、今回の手術が第1例。6月8日に成人女性患者に実施した。術後の状態は良好で、患者は既に退院している。

細胞シートによる再生医療は、皮膚や心臓、血管などの治療では実用化されているが、腹腔内での治療に用いるのは前例がない。金高教授は「患者自身の細胞シートを使い、安全に治療することができる新しい手術方法。今後は肝臓や脾臓（すいぞう）など腹腔内の他の臓器の治療にも応用できるのでは」と話している。

2022年6月29日長崎新聞

先端技術展開外科学講座

体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善

日本経済新聞

記事利用について

移植用肝臓、状態改善し成功率向上 長崎大学・SCREEN

2022/11/1 17:36 | 日本経済新聞 電子版

長崎大学とSCREENホールディングスは1日、ドナーから提供された移植用臓器に液体を流して機能を改善する「臓器かん流システム」の実用化に向け、共同研究講座を設けたと発表した。摘出後の保存時間が長くなり従来なら移植が難しい臓器でも、かん流で状態を改善させて移植の機会を増やす。まずは肝臓を対象に技術開発や検証を進め、2025年度にも人の肝移植で臨床研究を始める方針だ。



オンラインで記者会見した長崎大の江口晋教授（左）と曾山明彦准教授（右）とSCREENホールディングスの上席執行役員（1日）

SCREEN ホールディングス

- 1868年に京都で創業した石田旭山印刷所がルーツ
- 「表面処理技術」「直接描画技術」「画像処理技術」を半導体、印刷、ディスプレイ、プリント基板市場に展開
- 総売上高 4,118億円（2022年3月時点）
- 従業員数 約6,000人
- 海外拠点：31カ所



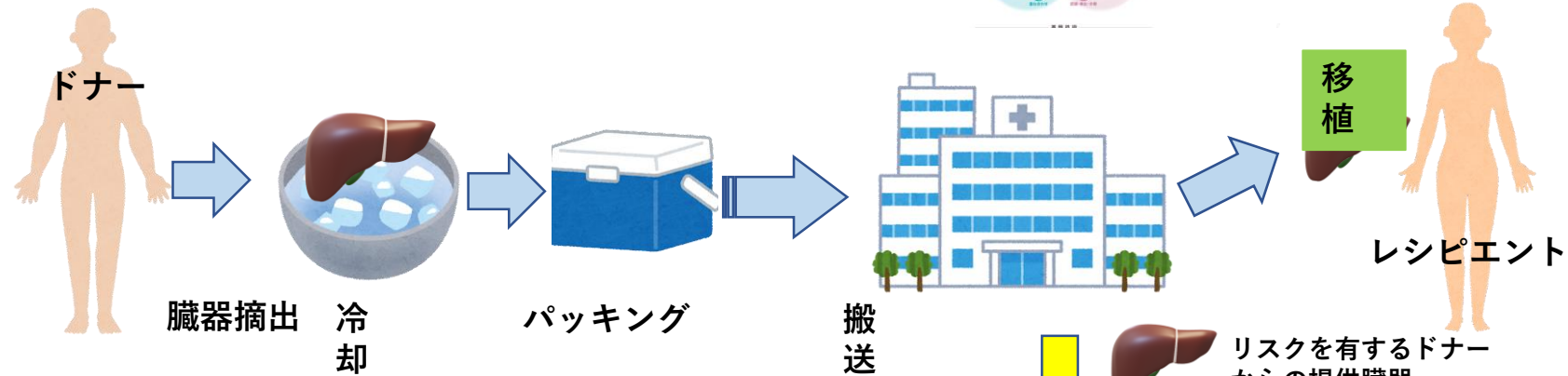
上記コア技術を基盤とし、事業領域を
ライフサイエンス、エネルギー等の分野へ展開

先端技術展開外科学講座

体外機械還流法によるグラフト機能評価・改善

曾山明彦 准教授 (h12)

(株)SCREEN



グラフト機能不全の リスクファクター

長時間保存例

脂肪肝

高齢ドナー

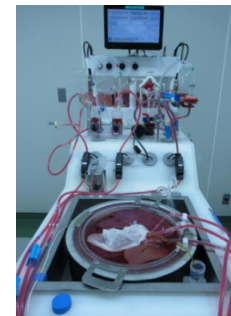
心停止ドナー

(本邦 現在実施なし)

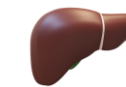
リスクファクターを有する
ドナー からの移植の際、
移植前の機械還流による
機能評価・改善を目指した研究
が行われている。

- 欧米では臨床応用あり
- 本邦の現状にあった機器・システム開発が必要

Machine Perfusion

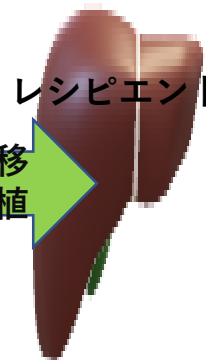


機械還流し、
機能確認



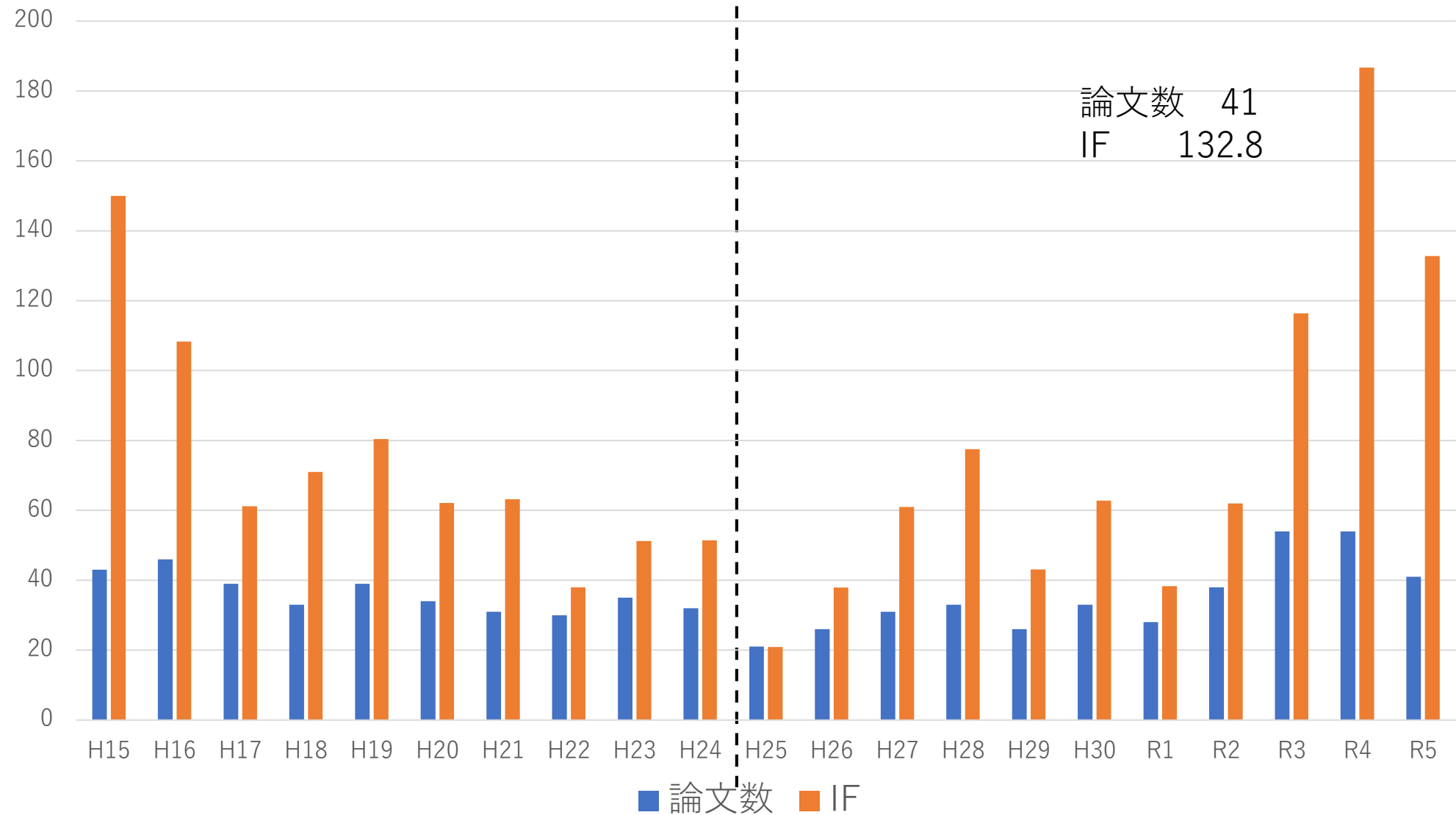
レシピエント

移植

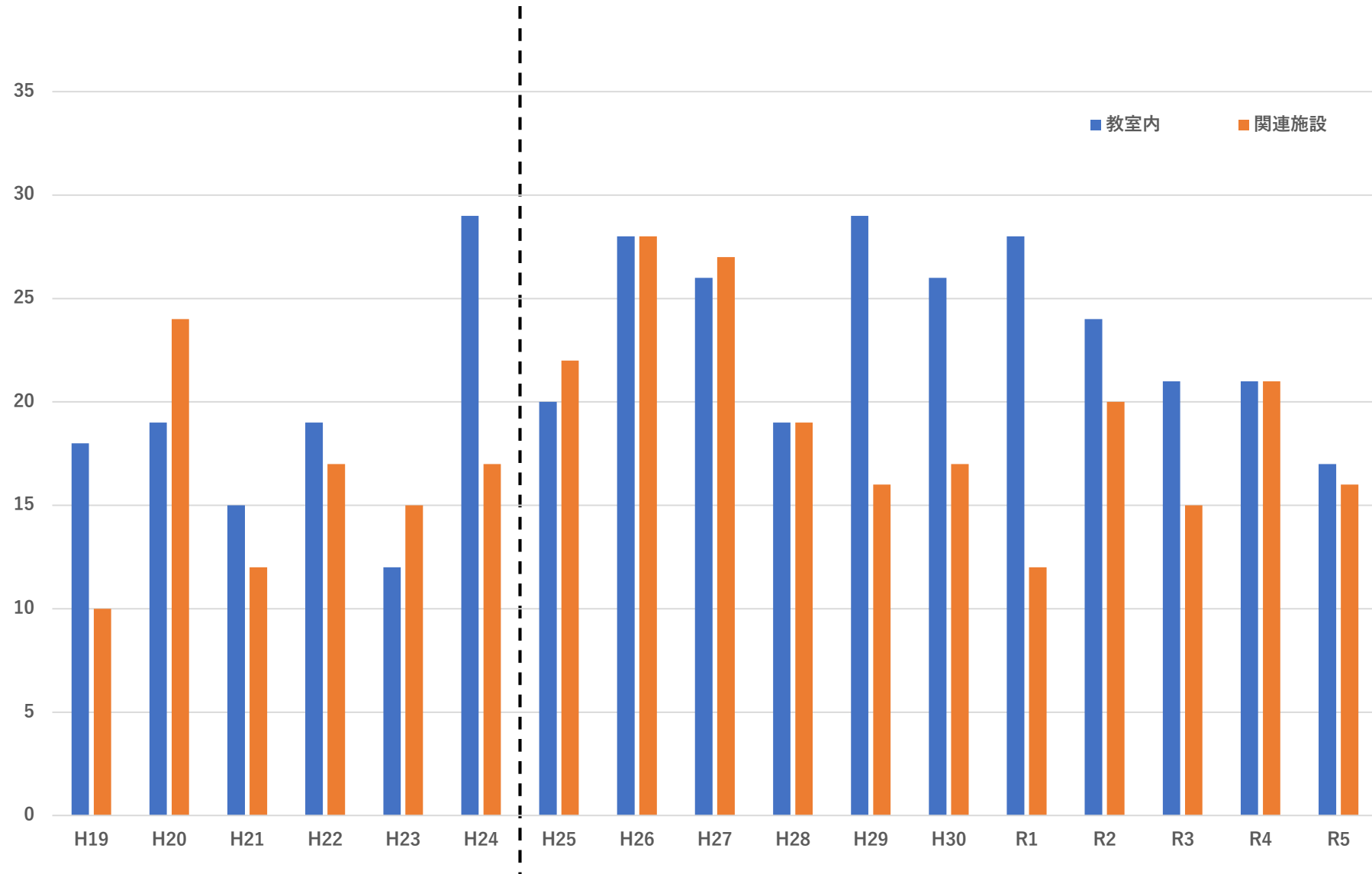


移植実施率、
移植治療成績の向上

論文数（英文）とIFの推移



日本外科学会 発表演題数



教室の社会貢献・国際交流 2023

特許

出願番号：特願2019-068911 出願日：2019年3月29日

発明の名称：肝前駆細胞を含む細胞集団を製造する方法

発明者：堺 裕輔，江口 晋

出願番号：特願2020-028432 出願日：2020年2月21日

発明の名称：内視鏡操作支援システム及び内視鏡システム

発明者：小坂太一郎、江口 晋、足立智彦、諸麥俊司

出願番号：特願2016-510473 出願日：2015年3月26日

発明の名称：外科手術用糸輸送器

発明者：江口 晋、黒木 保、小坂太一郎、石松隆和、諸麥俊司

出願番号：特願2018-14097 出願日：2018年7月27日

発明の名称：消化管再生のためのシート状細胞培養物

発明者：丸屋安広、松本 亮、小林慎一郎、金高賢悟、江口 晋ら

出願番号：特願2018-175557 出願日：2018年9月20日

発明の名称：シート状物貼付デバイス

発明者：山本郁夫、江口 晋、金高賢悟、丸屋安広、小林慎一郎ら

出願番号：特願2019-23584 出願日：2019年2月13日

発明の名称：切除器具

発明者：江口 晋，日高匡章，小坂太一郎，佐藤 洋，諸麥俊司

出願番号：特願2019-066417 出願日：2019年3月29日

発明の名称：培養組織及びその製造方法

発明者：堺 裕輔、江口 晋、足立智彦、黄 宇

出願番号：特願2020-010071 出願日：2020年1月24日

発明の名称：臓器の表面への貼付けのための生着シート状物

発明者：丸屋安広、山口 峻、金高賢悟、東 美樹、江口 晋ら

出願番号：PCT/JP2021/002375 出願日：2021年1月25日

発明の名称：臓器の表面への貼付けのための生着シート状物

発明者：丸屋安広、山口 峻、金高賢悟、東 美樹、江口 晋ら

出願番号：特願2021-018360 出願日：2021年2月8日

発明の名称：肝臓表面に移植するための細胞シート

発明者：江口 晋、日高匡章

出願人：国立大学法人長崎大学

出願番号：特願2021-018430 出願日：2021年2月8日

発明の名称：膵臓の切断面を覆うためのシート状細胞培養物

発明者：丸屋安広、山口 峻、金高賢悟、江口 晋、東 美樹、大橋文哉、甲斐美穂、荒巻直希

出願番号：特願2021-132394 出願日：2021年8月16日

発明の名称：嚢胞様構造を有する三次元肝細胞培養物およびその製造方法

発明者：宮本大輔，江口晋，足立智彦，日高匡章

出願番号：PCT/JP2022/030772 出願日：2022年8月12日

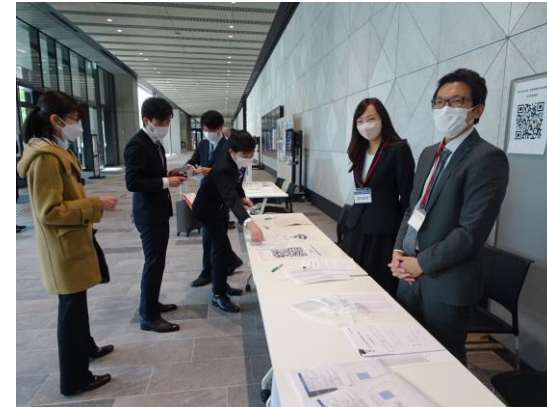
発明の名称：嚢胞様構造を有する三次元肝細胞培養物およびその製造方法

発明者：宮本大輔，江口晋，足立智彦，日高匡章

主催学会・研究会

第50回日本膵・膵島移植学会学術集会

(3月3日、4日 出島メッセ長崎)



主催学会・研究会

第15回膵臓内視鏡外科研究会

(11月15日 岡山コンベンションセンター)



The poster features a dark blue background with a colorful, abstract shape resembling a liver and pancreas. The text is in white and yellow. At the top right, there is a logo for 'Liver & Pancreas 2023 OKAYAMA'. The main text reads: '第17回 肝臓内視鏡外科研究会' (17th Hepatobiliary Endoscopic Surgery Research Meeting) and '第15回 膵臓内視鏡外科研究会' (15th Pancreatic Endoscopic Surgery Research Meeting). Below the first title, it says '当番世話人 | 本田 五郎 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器・一般外科)'. Below the second title, it says '当番世話人 | 江口 晋 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科)'. The date '2023 11.15 水' is prominently displayed in yellow. At the bottom, it says '会場 岡山コンベンションセンター' (Venue: Okayama Convention Center).

第17回
肝臓内視鏡外科研究会
当番世話人 | 本田 五郎 (東京女子医科大学消化器病センター 消化器・一般外科)

第15回
膵臓内視鏡外科研究会
当番世話人 | 江口 晋 (長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科)

2023 11.15 水

会場 岡山コンベンションセンター



関連学会・研究会

第6回 広州・長崎 外科シンポジウム 2023.9.1（出島メッセ）



今後の学会主催予定

第60回 The 60th Annual Congress of the Japan Society for Transplantation 日本移植学会総会



2024年9月12日[木]－14日[土]

出島メッセ長崎 長崎県長崎市尾上町4番1号

会 長

江口 晋 長崎大学大学院 移植・消化器外科学

副会長

田崎 修 長崎大学病院 高度救命救急センター

事 務 局 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科学

〒852-8501 長崎県長崎市坂本1丁目7番1号 TEL:095-819-7316

運営事務局 日本コンベンションサービス株式会社 九州支社

〒810-0002 福岡県福岡市中央区西中洲12-33 福岡大同生命ビル7階 TEL:092-712-6201(平日9:30～17:30)



その他



Department of SURGERY, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 長崎大学病院

移植・消化器外科 (第二外科)

Best surgery for now and future

TEL. 095-819-7316 FAX. 095-819-7319

English Japanese

お問い合わせ | サイトマップ

HOME

for PATIENTS



患者の皆さんへ
外来診療担当表、診療内容、
などのご紹介です。

for Medical Professionals



医療関係の皆さんへ
診療内容、紹介システム
などのご紹介です。

for Medical Students
and Trainee Doctor



学生・研修医の皆さんへ
実習・研修・見学などの
ご案内のお知らせです。

移植・消化器外科
の紹介

スタッフ紹介
研究活動
医局紹介動画
医局カレンダー



**外科後期研修医
募集中!!**

やる気のある方、
出身大学問わず!!
委細面談!

☎: taichiro1111@nagasaki-u.ac.jp
☎: 095-819-7316 (医局)

第43回
長崎障害者支援
再生医療研究会
2020年12月1日 火
17:30~
オンライン形式 (Zoom)
にて開催

※ 希望者の方には、ご連絡ください。

◆ 新着情報 ◆ NEWS & INFORMATION ◆ 過去の一覧 ◆

◆ 医局行事 ◆ Last update: 2020.10.29

(2020.10.29) 琉球大学の生体肝移植手術支援を行いました!

(2020.10.2) 研究奨励賞を山口峻先生が受賞しました!!

(2020.9.25) FACSを日高先生、小坂先生が取得されました!!

(2020.9.23) 脾腎同時移植6例目を施行致しました!

(2020.9.15) 第37回「角尾学術賞」受賞記念講演会 (オンライン)

◆ 学会発表情報 ◆ Last update: 2020.11.16

(2020.11.16) 《学会報告》第58回 日本人工臓器学会大会 (濱田 隆志)

(2020.10.27) 《学会報告》第58回 日本癌治療学会学術集会 (小林 和真)

(2020.9.28) 《学会報告》第30回 九州内視鏡・ロボット外科手術研究会 (山口 峻)

(2020.9.23) 《学会報告》第43回 九州食道疾患検討会 (小林 和真)

脾臓移植・脾腎同時移植
を希望される患者様へ

女性外科医
を目指す方へ

長崎大学
重点課題

厚労科研
エイズ対策研究事業

長崎大学 移植・消化器外科
Journal Club 抄読会

長崎大学 移植・消化器外科
医局紹介動画

長崎障害者支援
再生医療研究会

Webメディアの
取材を受けました
Doctorbook

f

Since 2010.3.15 277412

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 長崎大学病院 移植・消化器外科

TEL. 095-819-7316 / FAX. 095-819-7319



患者の皆さんへ | 医療関係者の皆さんへ | 学生・研修医の皆さんへ | 移植・消化器外科の紹介 |
ブログ・チャック セミナー | 女性医を目指す方へ | ブログ | フェイスブック | お問い合わせ | サイトマップ |

PAGE TOP

Copyright© Department of SURGERY, Nagasaki University Graduate School of Biomedical Sciences All Rights Reserved.

ご寄稿お願い致します

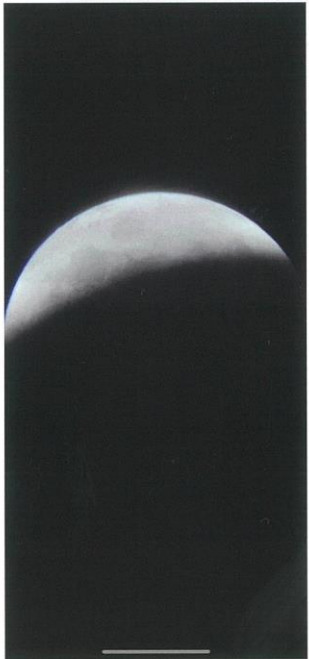
鐘韻フォトギャラリー

古屋野教授着任100周年記念誌

鐘韻フォトギャラリー



川口雄太先生 (平成29年卒)



『皆既月食』

442年ぶりです。双眼鏡からスマホで撮りました。

甲 拡子先生 (平成18年卒)



『家族5人の手』

私の手はどれでしょう。
遠くから先生方のご活躍と、先生方の手で救われる
患者さまのために祈っております。私も頑張ります！

福本将之先生 (平成27年卒)



『ソウルにて』

草野舞子 (事務補佐員)



『リレーマラソン』

リレーマラソンの応援に行ってきました！
2022.10.10

松尾聖哉先生 (令和2年卒)



『旅立ち』

いろいろありましたが、新天地でノビノビやらせて
いただいております！大きくなって帰ってきます。

江口 晋先生 (平成4年卒)



『夏の長崎港』

濱田隆志先生 (平成23年卒)



『僕とオーロラ』

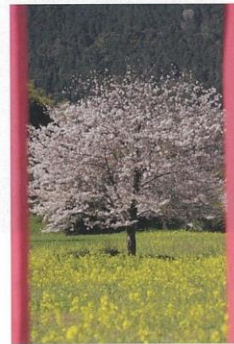
super happy! (子供が実際にいった言葉です。。。)



『北欧の神秘』

2022年10月中旬

岸川博紀 (昭和50年卒)



桜



長崎大学第二外科同門会

平成 年 月

2022の当科の 大学からの評価

2022年度の実績

項目	実績値	所属部局内の状況			
		順位(位)	平均値(Pt)	中央値(Pt)	最大値(Pt)
教育 ▼	3,628	1	570	282	3,628
授業	978	11	359	229	2,073
院生指導	2,600	1	184	0	2,600
教科書	50	4	16	0	800
その他の教育活動	0	20	11	0	200
研究 ▼	6,336	4	1,139	691	13,351
Wos収録論文数	1,848	3	304	192	2,308
論文数	2,095	2	222	113	2,300
論文当り被引用数	1,693	3	286	126	2,868
著書	0	15	28	0	825
芸術活動等	0	5	1	0	63
研究費獲得件数	550	7	201	50	4,100
特許出願・登録	0	5	9	0	500
受賞	0	13	7	0	150
講演・口頭発表等	150	16	81	5	1,550
国際化 ▼	844	2	88	19	1,197
英語授業	342	5	36	0	826
留学生指導	350	2	30	0	400
留学支援(日本人学生)	0	-	0	0	0
学生交流に関する覚書締結	0	5	3	0	100
国際共著	152	2	18	7	225
国際学会での講演・口頭発表等	0	5	1	0	35
地域・社会貢献 ▼	450	11	182	15	2,100
社会貢献活動	50	21	115	0	2,000
初期研修医教育	100	7	43	0	500
メディア報道	300	2	24	0	670
外部資金 ▼	10,400	2	1,389	959	16,308
間接経費	8,803	3	920	391	15,434
病院粗利益	1,597	5	469	551	1,677
大学運営 ▼	539	16	218	30	1,720
全学委員会・学長GW	0	34	88	0	840
管理職	500	6	54	0	800
病院運営	0	3	8	0	500
入試業務	39	37	67	0	1,464
プラネタリーヘルスへの取り組み ▼	300	2	34	0	500
プラネタリーヘルスへの取り組み	300	2	34	0	500

現在の外科学講座

腫瘍外科（外科 1）		移植・消化器外科（外科 2）				
三浦	永安					江口
心臓血管外科	乳腺・内分泌外科	小児外科	呼吸器外科	胃・食道外科	大腸・肛門外科	乳腺・内分泌外科
						小児外科
						肝胆膵・肝移植外科
						胃・食道外科
						大腸・肛門外科
外科ハブセンター						

現在の外科学教室の枠組みの問題点

長所

- 長い伝統の中でお互いに切磋琢磨して臨床・研究・教育で両講座とも成果を上げてきた。
- それぞれの関連病院と強固な連携関係ができています。
- 入局者を確保できており、優秀な人材を輩出している。
- 外科全般にわたる修練が可能である。

問題点

- 診療科重複のため、学生や研修医（特に他学出身者）に特徴が分かりにくい。
- 診療科重複のため、入局者が分散あるいは敬遠している可能性がある。
- 診療科重複のため、医療安全上の問題あり（群馬大学の例）。
- 診療科重複のため、症例が分散し高度医療、臨床研究を行う上で効率的でない。
- 関連病院が限定されるため、地域病院への専門人材の派遣が困難な可能性がある。
- 全国的には統合・再編によるマンパワー充実化の傾向にある。

外科学再編案

外科学講座

腫瘍外科		消化管外科（新設）		移植・消化器外科	
分野：名称変更		分野		分野：名称変更	
三浦		永安（→新教授）		江口	
心臓血管外科		乳腺・内分泌外科	呼吸器外科	小児外科	肝胆膵・肝移植外科
外科ハブセンター					

外科大講座制移行について

2024年4月～(予定)

➤呼吸器・乳腺外科

現在選考中

【Zoomによる説明会開催を開催】

➤肝胆膵・小児外科

江口 晋

第1回 11/10

第2回 12/1

➤消化管外科

現在選考中

* 今後もその都度説明会を予定していきます。

➤心臓血管外科

三浦 崇 教授

おわりに

今後とも教室へのご支援宜しく
お願い申し上げます。

皆さんが楽しく外科医を続けられる
ように、考えていきたいと存じます。

診療応援・代診などのご要望は、
医局長までお知らせください。